

## 第4回 大井川水資源検討委員会 議事概要

### 1. 日時・場所

平成27年11月27日（金）9：30～11：05

JR 東海品川ビル会議室

### 2. 出席者

<委員長>（敬称略） 今田徹

<委員>（敬称略・順不同）足立紀尚、木谷日出男、小池俊雄、真下英人

<オブザーバー> 国土交通省中部地方整備局河川部、静岡県交通基盤部河川砂防局、  
静岡市環境局

<事務局> 東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

### 3. 内容

【挨拶】 ○事務局代表 中央新幹線推進本部長

○委員長

【議題】 ○第3回委員会の概要

○導水路トンネルの計画

○水収支解析の結果

○水環境の計測計画

[参考] 環境調査（動植物への対応）

○大井川流域の水資源に対する環境保全措置

○今後の予定

### 4. 委員長挨拶

前回までの委員会で、方針が決まってきたと考えている。今回はさらに検討を具体化し、環境保全措置としてとりまとめた計画が示されるとのことであるので、忌憚のない意見を頂き、計画段階としての議論のまとめを行いたいと考えている。

### 5. 議事概要

○導水路トンネルの計画

- ・施工中は、坑内からの前方探査に加えて、必要に応じて地表からの地質調査の実施について検討することが望ましい。特に、沢部においては、斜面の条件に応じて、留意して調べると良い。
- ・二軒小屋発電所および赤石沢発電所導水路トンネルについて、TBMだけでなく在来工法で施工された箇所データを把握するなど、実際に掘削した時のデータを更に

調査し、今後の計画に反映するとよいのではないか。

- ・電力会社の導水路トンネル工事で経験した破砕帯等の状況についても、できる限り詳細に把握しておくが良い。
- ・先進坑にポンプ釜場を設置することになっているが、先進坑は開業後も残るものなのか。

→(JR) 先進坑は開業後も残し、必要に応じてポンプアップすることは可能である。

#### ○水収支解析の結果

- ・河川流量が期間平均で示されているが、河川維持流量を下回る日はないのか。

→(JR) 水収支解析上、河川維持流量を下回る日はない。

- ・実際に工事を実施していくにあたっては、河川の流量計測の結果に十分留意して進めていくことが望ましい。

#### ○大井川流域の水資源に対する環境保全措置

- ・これまでの委員会で議論された内容が、的確に環境保全措置としてまとめられている。

#### 6. 委員長総括

- ・これまでの委員会で議論された内容がまとめられており、提示された内容に沿って環境保全措置を進めていくことを委員会として確認した。
- ・今後、実施段階では河川の流量計測の結果に十分留意することが望ましい。
- ・TBMによる施工の具体的な計画にあたっては、電力会社の導水路トンネルのデータについて更に収集を進め、内容を反映していくとよい。